



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成25年2月号

【日本ナショナルトラスト『報』、H25年1月号に寄稿する機会を得ましたので、同文を以下に転載いたします。】

## 結の絆で合掌家屋を守る！！

～旧寺口家・旧松井家の屋根葺き迫る～

守る会会長 和田 正人

「結（ユイ）」という言葉をご存じでしょうか。結とは「労働力を互いに無償で貸し借りする制度」のことで、広義には「相互扶助の制度」として捉えることができます。地方によっては「ユイマール」「モヤイ」「タノモシ」といった言葉で表現され、昔はどの地域にも普通に存在した慣わしです。わが故郷世界遺産白川郷には、結が現在も様々な形で根付いています。集落内の草刈りや水路掃除、冠婚葬祭のお手伝い、その中でも代表的な行いが合掌家屋の屋根葺きなのです。

結による屋根葺きは、一度に数百人の労働力を要します。そして、人海戦術で短期間で屋根を葺きあげます。また、茅をはじめとする膨大な量の材料を必要とします。一昔前は、茅の確保も結で行っていました。労働力だけでなく各家に蓄えた茅を持ち寄り互いに貸し借りをしたのです。そして、「結帳」と呼ばれる帳面にお手伝いくださった方々の名前、提供いただいた茅やわら縄等の数量を詳細に記録し、ぬからぬようにお返しをしました。多くの住民の協力がなければ、屋根の維持はできなかったのです。現在は生活も豊かになり、業者委託による屋根葺きも増えてきましたが、今でも多くの住民に労働力を提供いただく結に準じた屋根葺きを大切にしています。

**「技術伝承」の役割も** 結による屋根葺きは、大きく2つの意義を有しています。第1は「住民の協力で合掌を守る」ということです。私も何軒かの屋根葺きをお手伝いしましたが、たとえ他人様の家であっても汗して働くと合掌家屋への愛着がわいてきます。また、家主はお手伝いくださった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいになります。そのような全ての人々の思いが、みんなで合掌を守ろうとする絆を深めていくことにつながるのです。第2は「屋根葺き技術の伝承」という部分です。次代を担う若者に実際の屋根葺きの現場を通して技術を伝承していく大切な役割をもっています。「この縄の縛り方は、おまえの父ちゃんから教えてもらったんや。」と年配の方が若者に語りながら伝授する姿、若者が競い合って屋根に登り技術を学ぼうとする姿からは、人がつないできた伝統の重みと未来を感じます。また、これらの結のもつ意義がユネスコから高い評価を得て、世界遺産の登録につながったとも聞いています。その意味からも、何とか結による屋根葺きを存続していかねばと思うのです。

昨年夏、白川郷合掌文化館(旧松井家)において『平成24年度旧松井家及び旧寺口家管理運営委員会』が開催されました。旧松井家・旧寺口家は日本ナショナルトラスト(以下JNT)が所有する建物で、昭和60年代に保存が危ぶまれた2棟の現地保存を条件に、JNTの募金収益による買い取りと村や荻町住民による保存管理を取り決め、現在は旧松井家は白川BOX、旧寺口家は守る会が中心となり管理に努めています。会議にはJNT、村教育委員会、白川BOX、守る会、荻町区等の代表者12名が集まり、事業報告や協議がなされました。その中の重要案件として、屋根葺きに関わる協議がなされました。

**今年度からスタート** 旧松井家は平成5年、旧寺口家は平成8年に屋根葺きを行い、20年弱が経過しようとしています。その間、棟茅替えや差茅作業等の部分修復を行ってきましたが、傷みが激しく早急



【H22年いろりさんの屋根葺き】



【H19年利兵衛さんの屋根葺き】

に葺き替えを要する状況となりました。そこで、村内の緊急性を要する家屋の有無等を考慮し協議を進める中、平成25年秋に旧寺口家、平成26年に旧松井家の屋根葺きを実施する計画案が決定しました。

実施方法につきましては、2棟とも結による屋根葺きで行いたいと考えています。その中心となるのは住民であり、村内の葺き師・合掌保存組合の支援のもと住民の力を結集して行います。加えてJNT会員のみな様によるボランティアにも絶大なる期待を寄せていますので、ご協力ご参加の程よろしくお願い申し上げます。なお、必要経費につきましては、荻町集落内の合掌家屋（伝建物）と同様に伝建制度による補助金、世界遺産白川郷合掌造り保存財団からの助成に加え、JNTによる「白川郷屋根葺き募金」を立ち上げ、全国への募金活動を開始いただけると聞いています。こちらにつきましても、みな様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

合掌家屋は個人のものであって個人のものでない。みんなで守り次代につなげていく世界の宝物でもあります。村内外の力を結集し、2棟の合掌家屋をみんなで守り、みんなに愛され、みんなで有効活用できる施設として存続できるよう、全てのみな様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

### 「白川郷屋根葺き募金」へのご協力・PRをよろしくお願い申し上げます！！

ゆうちょ銀行 口座番号 00120-2-106140 口座名義 ザイ）ニホンナショナルトラスト

※ご送金の際は、備考欄に「白川郷」とご記入下さい（記入のない場合はJNT全般に対する寄付金となります）。

※領収書等が必要な方は、備考欄に「領収書希望」とご記入いただき、住所氏名を正確にご記入下さい。

**旧寺口家屋根雪おろし！！**……2月2日朝、野谷合掌環境部長の声かけで集まった有志9名で、旧寺口家の屋根雪おろしを行いました。今シーズンの雪は、降り出しがはやかった割には例年に比べやや少なめといった感じ。それでも屋根雪をおろすと1階部分が完全に埋もれるだけの量は十分に積もっていました。屋根葺きを控えた傷みの激しい屋根だけに、これですばらくは一安心です。立春も過ぎ暦の上では春となりますが、白川郷の厳しい冬はこれからです。屋根雪や雪またじに追われる日々がしばらく続きますが、怪我などされませぬようご自愛ください。[文責：和田]



### 守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## = 1月の活動報告 =

- 1月 1日 元日・春駒（同保存会）
- 1月 8日 斎藤教授訪問（京都、教育委員会・区長・会長）
- 1月 11日 地域再生プログラム実施機関連絡会議講演（鳩コミ、会長）
- 1月 12日 ねそ1月号配付
- 1月 16日 荻町区新年会（副会長）
- 1月 18日 1月定例会及び新年会
- 1月 19日 白川郷ライトアップ初日（同実行委員会）
- 1月 22日 調査打ち合わせ会（会長・副会長）
- 1月 28日 村伝建審議会（会長・副会長・事務局長）

### = 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

**【※3月の定例会は8日（金）を予定しています。】**

### ☆1月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

\*\*\*\*・・・小屋の解体

白川村・・・消火栓の移設（\*\*家）

### ☆2月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

現状変更申請は0件でした。